

第 1 回 江戸川区男女共同参画推進区民会議

日 時	平成28年8月26日（金）10時00分～12時00分	
場 所	江戸川区役所 4 階 第 1 委員会室	
次 第	1 開会 2 委員紹介 3 会長・副会長選出 4 会議の公開について 5 次期計画について 6 重点目標 1 「仕事と生活の調和した暮らしやすいまち」について 7 その他 8 閉会	
配 付 資 料	会議次第 資料 男女共同参画推進区民会議について 資料 次期「江戸川区男女共同参画推進計画」の概要について 資料 江戸川区男女共同参画推進計画(平成19～28年度)【現行計画】 資料 計画策定スケジュール 資料 次期「江戸川区男女共同参画推進計画」の方針について 資料 関連法令・計画等の概要 資料 江戸川区の現状分析 ～重点目標 1 仕事と生活の調和した暮らしやすいまち～	
区 民 会 議 委 員	会 長 横山 和子 副会長 浦岡 由美子 委 員 高橋 正明 森本 勝也 加納 志野 中村 厚子	井田 佳男 蓮沼 祥之 見山 ミチ子 高橋 淳子 原島 裕紀 池田 絵里（欠席）
事 務 局	経営企画部企画課・子ども家庭部児童女性課	

< 議事要旨 >

1 開会

事務局

- ・挨拶、会議の流れの説明

2 委員紹介

事務局

- ・委員紹介

3 会長・副会長選出

事務局

- ・委員の互選、承認により会長に横山委員、副会長に浦岡委員を選出
(会長・副会長より挨拶)

4 会議の公開および公開のあり方について

委員

周囲の方に男女共同参画推進区民会議への参加を伝えると、とても興味を持つ方が多いので、傍聴可能な会議にできると良い。

委員

この会議では、会社や家庭、個人的な知り合いの事例を踏まえて、本音の部分で話し合いが出来たらと考えている。会議の公開は大切であるが、本来の目的である男女共同参画の推進について区民目線で話をするには、非公開にすることも1つの方法だと思う。

委員

会議の中でいろいろな事例を出した際、内容によっては個人等が特定されてしまうおそれがある。会議を公開するとなると発言はセーブしなければならなくなる可能性がある。

委員

個人情報にあたるような内容を話す場面もあるかと思う。10年にわたる区の方針を立てる会議なので透明性は必要である。議題により「一部公開、一部非公開」と出来るのであれば、そのような方法も良いかと思う。

委員

混乱を避けるためにも、公開か非公開かはきちんと決めたほうが議論も深まると思う。個人情報に関わるものが公開されることは避けるべきである。

会長

この会議は当面非公開で進め、議事要旨をホームページで公開することをお諮りします。ご了承いただけますでしょうか。

一同

(異議なし)

5 次期計画について

事務局

- ・資料説明

6 重点目標1「仕事と生活の調和した暮らしやすいまち」について

事務局

- ・資料説明

《各委員の意見》

男女共に、仕事に対する考え方や家庭に対する考え方は人によって異なる。各分野の代表者が出席しているので、会社や業界の現状から具体的な内容を挙げていただき、みなさんと対処法について議論していきたい。

区内の女性就業率が全国平均より低いというデータ結果ではあるが、区内の合計特殊出生率は23区内で最高だと聞いており、子育て中の方には非常に住みやすいまちではないかと思う。子育て中の女性が社会復帰する環境をどのように整えていくか、産業界だけでなく行政の補助を得ながら、施策を考えなければならないと思う。特に待機児童の問題、育児や介護の負担を和らげる取組み等は、今後強化すべき点である。

女性が就労を継続できる環境は非常に重要である。子どもが小さい頃は子育てに専念し、その後はパート勤務で復帰するのが多いようであるが、子どもがいても、フルタイムで働き続けられる柔軟な仕組みがあれば、区内の女性就業率の数値も少しずつではあるが変わってくる。

ワーク・ライフ・バランスについて、企業や社会全体でどのように取り組むかは、男女共同参画に対して最も重要なことではないかと感じている。

育休取得や子育てで残業できない従業員が行う仕事に対する創意工夫が、周囲の理解となり、育休を十分に取れる環境、会社の雰囲気となる。フルタイムで働きながら子育てをすることは大変なので、ライフステージによる家庭の状況に応じて、仕事量を調節できるフレキシブルな対応が出来れば女性は働きやすい。このような対応は、男女問わず病気をした場合にも必要だと思う。会社側も社員側も、「フルタイムで再び働くことができる」という共通認識が出来ていると、女性にとって非常に働きやすい環境になる。

子育てしやすい区としてのイメージがあるので、更なるイメージアップに向けて、

江戸川区として何か取り組むとよいのではないか。子育てのしやすさを期待して流入してくる方が増えれば、税収も増えて好循環になる。

社員とアルバイトの区別をなくし、就労時間もライフステージに応じて4時間～8時間と選択できるなど、安心して暮らせるように、会社の制度自体を変えることができる。このことは経営者の考え方で変えられると思うので、経営者の意識改革とそのための支援が重要と考える。

4月に女性活躍推進法が始まり、女性を管理職にという動きがあるが、家庭のことで、会社で普通に勤務をこなし、管理職になるために更に頑張るように言われ、逆に女性ばかりに仕事が増えているようだ。まず男性の意識を変えてもらうための勉強会などを行い、経営者の意識を変えることが必要。区でセミナーを開くなど、経営者の意識を変えていく取り組みが広がればよいのではないか。

以前は、子育てに理解のある会社は大変少なかった。現在は、企業内保育所をつくり、出産後にすぐ預けられるところも多くはないがある。区の待機児童は400弱だが潜在的にはもっと多いと思う。働きたいが働けない人が多いという矛盾を解消するためにも保育所を増やしてほしい。

江戸川区には優れたすすくスクールがあるが、もう少し時間延長してもらえると助かるという声を聴く。ご検討いただきたい。

男性側の「家事・育児への参加」に対する考えが、職場の雰囲気大きく左右されると実感している。家事・育児への参加意識が高い会社に勤めていると、男性の意識が高くなるようである。まずは、職場の雰囲気づくりが大事である。

女性は出産・育児による離職後の再就職は難しく、特に求職活動中に子どもを預けることが非常に難しい。こうしたことが、第一歩を踏み出しにくい要因であると思う。子どもを育てるには多くのサポートが必要で、子どもを持ちながら働くにはまだまだ課題がある。

私の職場は男性中心だが、女性の採用を増やす試みを行ない、やっと女性が3割近くになってきた。少ない女性を無理に登用するとひずみが生じ、男性の考え方にも良くない影響を及ぼしている。職場の上司にしっかりした教育をしていかないと、社員の考え方は変わらない。

男性は親の介護が必要になったときに初めて現実をみるが、それまでは仕事中心である。子育てでは妻に依存し、自分は仕事に専念しているのが典型的な日本男性像である。管理者が啓発活動を進めていかなければ、女性の雇用促進や能力開発は進んでいかない。

組織全体で取り組んでいかないといけない。トップのリーダーシップと社員の意識向上が必要である。

学校では小学校の入学時から男女平等の教育が行われているが、卒業し成人しても、なかなか性差を理解しきれず、結婚し子育てを行っている中でも、それぞれの特性を生かし切れない実情もあると感じる。子どもの成長のためには、共同参画という意味で、母親だけでなく父親も子育ての尊さをしっかりと理解することが必要である。

子どもが幼児のうちから、夫婦で協力して子育てをすることを啓発する機会、学ぶ機会を持てればと思う。例えば3歳児健診に学ぶ機会を持つこともよいのではないかと思う。職場としてもそのような機会に参加するための休暇制度をつくる、もしくは、研修機会をつくるのがあっても良い。

男性は親の介護に直面するまで家庭に関わっておらず、何もわからないまま介護の現場に入り、その時に制度の勉強などを始めているという現状を見受ける。

区民への具体的な支援としては、子育て中の精神的なサポートなどの勉強会や、子どもが手を離れてからの再就職に向けた役立つ講習等が充実すると良い。

課題に「男女共同参画に対する男性の理解」とあるが、女性の側にも精神的に乗り越えなければいけない部分もあると思うので、「男性」だけでなく「女性」という言葉も入れるべきである。

調査によると「管理職になることへのイメージ」について、男性は、「管理職に昇進することで、自分自身で決められる事柄が多くなる」と考えている方が多い。女性にも、昇進することで自らの時間をマネジメントできるようになり、より働きやすくなることをしっかり啓発していくことも必要である。

育児休暇に関する啓発については、行政にできることが多いと思う。育児休暇をとっている男性を区報で積極的に紹介するなど、これは良いことだというイメージづ

くりも必要ではないか。

女性の管理職昇進の問題として、女性の管理職は少なく悪戦苦闘している人が多いと思う。ロールモデル(模範例)をシェアできる機会をつくるなど、区でサポートするののも一つの方法である。

「トップや組織が働きやすい環境をつくるのだ」というメッセージを伝えることは非常に重要である。中小企業が多い江戸川区で、区が働きかけることにより、そのような特色が出てくると良い。

7 その他

会長

次回の会議は、10月28日(金)午前10時開催です。会場は後日通知いたします。

8 閉会